

議会だより

3月定例会報告	2
新年度予算を審議しました！ ～令和6年度一般会計予算～	4
議会報告会のお知らせ	10
市政のここが聞きたい!!一般質問	11
特集 ～政策提言に向けて～	20
市民の声	24

18年間据置きの特別職報酬

について議論百出

令和6年3月定例会が、2月20日から3月19日まで開催され、報告1件、議案49件、議員提出議案2件を審議しました。主な質疑と討論を紹介します。また、右記の二次元コードから当日の中継映像をご覧いただけます。



議案第1号
安曇野市特別職の職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例
可決

令和5年11月の特別職報酬等審議会の答申を受け、市長、副市長、教育長の給与月額、議員報酬等の月額を改正するもの。

反対の意見 内川 集雄

社会は、実質給与が長年横ばいで、市民の生活が豊かになっていない。議員報酬の引き上げには反対。

賛成の意見 矢澤 毅彦

議員定数削減をしながらも、合併以来約18年間、見直しがされてこなかった。今回の安曇野市特別職報酬等審議会の答申を受けての見直しには正当性がある。

反対の意見 猪狩 久美子

社会保障は負担増と給付削減がされてきた。物価高騰で市民生活も厳しい。今この時点での議員報酬引き上げは、市民の理解を得られない。



賛成の意見 一志 信一郎

審議会の答申の中に、「今回の議員報酬の改定は、多様な人材の立候補につながるものと考えらる。」とある。議員報酬の増額が若い世代の立候補を促すことにつながることを期待したものだ。

反対の意見 小林 純子

議員自らが議員活動の範囲や、責務を明確にし、議員報酬の支給の根拠や規定等について研究・検討を行い、市民の理解が得られるよう、説明責任を果たすべき。

賛成の意見 増井 裕壽

議員報酬は、議員活動の量と長さ、時間と日数、活動内容と成果によって算出されるべき。市の財政状況も健全であり、議会の活性化や、優秀な人材確保のためにも妥当性は非常に高い。

反対の意見 橋本 裕二

報酬増の上げ幅が10%を超えていて、急ぎすぎ。それより、議員の非専門化を進めるべき。そうすれば議員報酬の考え方も随分変わっていく。

賛成の意見 辻谷 洋一

合併以来18年間改定されていない。県内の類似市と比較して、低水準となっている。

賛成の意見 岡村 典明

審議会における視点は、類似する市との比較検討を行った点において、合理性および正当性がある。

反対の意見 増田 望三郎

議員は年収水準が比較的高い。議員報酬を一律に増やすのではなく、20代、30代、40代への加算をすべき。

賛成の意見 宮下 明博

20年前の合併協議会において、「同規模の自治体の額を基本に調整する。」とのことだった。審議会の答申を尊重し、これから出馬に意欲のある若者や、自分の仕事を犠牲にまでもと、意欲のある方のために改正は必要。



議員提出第1号
安曇野市議会委員会条例の一部を改正する条例
可決

議員提出第2号
安曇野市議会会議規則の一部を改正する条例
可決

提案理由

令和5年4月の地方自治法の一部改正により、令和6年4月から、地方議会に係る手続きのオンライン化が可能となるため。必要な事項を定めるもの。

議案第6号
安曇野市介護保険条例の一部を改正する条例
可決

反対の意見 井出 勝正

所得の少ない方には負担を軽減するが、所得が420万円を超えると保険料が引き上げられる。細分化されたとはいえ、負担が増える改定には反対。国の介護保険制度を維持するために、国庫負担を増額すべき。

賛成の意見 大竹 啓正

高齢化社会が進行する状況の中で、持続可能な介護制度が最大の課題。低所得者の負担軽減、高額所得者の負担率引き上げは当然である。



賛成の意見 一志 信一郎

国が示した所得階層と保険料率を準用することは合理性が高い。市も市長会を通じて、国へ国庫負担割合の引き上げを求めている。

議案第27号
令和6年度安曇野市介護保険特別会計予算
可決

反対の意見 井出 勝正

議案第6号と同じ意見で、反対。

賛成の意見 平林 明

第9期介護保険事業計画では、低所得の保険料負担を軽減し、高所得階層からは応分の負担をしてもらう。基準額を第8期と同じに据え置いている。持続可能な介護保険制度とするための予算である。

賛成の意見 竹内 秀太郎

介護保険料の改定は、国が示した低所得階層と保険料率を準用しており、合理性が高く、市民も納得できるものだと思う。国の予算システムを使って必要な介護給付費と介護保険料を算出して予算編成したもの。国庫負担率の増額は市の考えではない。



議案第49号
令和5年度（債務負担行為）堀金学校給食センター設備更新事業厨房機器等更新工事変更請負契約について
可決

質疑

空調設備の更新については、新年度予算に計上されているので、もっと早くに契約変更を行い、補正予算対応ができ、工事完了が遅れなかったのではないかと。

答弁

令和5年10月中旬に業者から、通常設備点検の詳細結果報告を受けた。空調設備が老朽化しており、全部改修が必要との指摘を受け検討した。



会派代表変更のお知らせ

令和6年4月1日付けで「会派 あづみ野」の会派代表が平林 明 議員に変更されました。これに伴う委員会等の変更はありません。

安曇野市民が輝く 生き生き予算

令和6年度一般会計予算

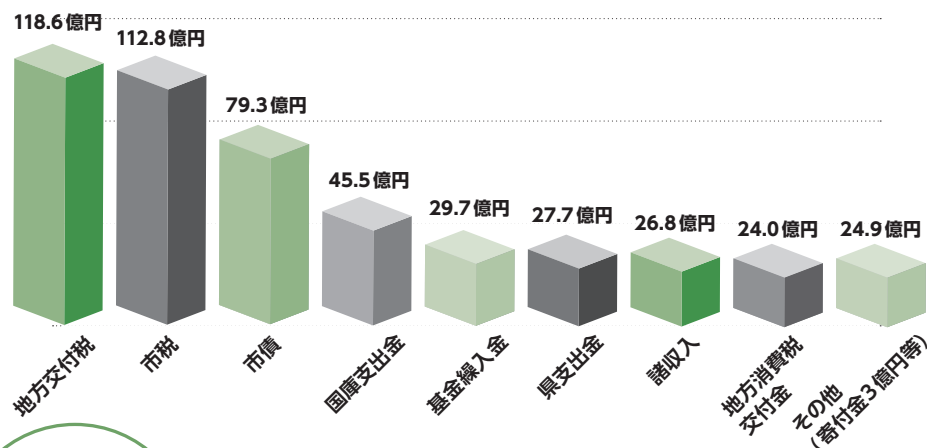
総額 **489億3,000万円** (前年度比7.2%増) を可決

人口 96,048 人 (令和6年3月1日時点)

市民1人あたり
約 **51万円**
(前年度は約47万円)

一般会計歳入
489.3億円

※100万の位で四捨五入



77,149円/人
借入金返済に

70,277円/人
小中学校などに

16,450円/人
消防・防災対策などに

54,660円/人
道路や公園整備・
除雪対策などに

一般会計歳出
489.3億円

教育費
67.5億円

消防費
15.8億円

土木費
52.5億円

商工費
27.4億円

衛生費
27.2億円

労働費
0.6億円

農林水産業費
21.9億円

民生費
153.1億円

総務費
46.1億円

その他
0.6億円

47,997円/人
職員管理・
公共交通などに

159,399円/人
介護・医療などに

28,319円/人
予防接種・母子・
子育て支援などに

51,328円/人
商工業・農業・
山林整備などに

令和6年度一般会計予算特集

ピックアップ! 注目事業

※1万円未満切り捨て

総事業費 **10億2,111万円**
本年度 **4億8,394万円**



三郷東部認定こども園を
新たに建設する工事

総事業費 **8億1,611万円**
本年度 **3億688万円**



豊科近代美術館
大規模修繕工事

2億1,964万円
学校支援員配置事業
支援員の増員など



1億7,193万円

地域脱炭素化推進事業
公共施設への太陽光発電設備の設置など



2億3,782万円

鐘の鳴る丘集会所
施設整備事業

芸術家等による滞在制作の拠点整備

1億7,262万円

公共交通事業

デマンド交通あづみん/のるーと
土日祝日運行を開始

議案第24号 令和6年度一般会計予算に対する討論

反対の意見 小林純子

非正規公務員の能力、経験や専門性は、住民サービスの維持に欠かせない。安心して業務に当たれるような制度設計が必要。豊科開発公社も安曇野の里も漫然と存続させることは疑問。

賛成の意見 平林 明

会計年度任用職員の処遇は、令和6年度からは勤勉手当が支給されるなど、身分の安定化が図られている。任用は任命権者の責任の下で行われるもので、議員が人事に口を挟むことは適当でない。

反対の意見 白井泰彦

戦争を絶対に繰り返さず、恒久平和を誓う市民的つどいをやる理由はなく、平和と人権のつどい及び戦没者追悼式が予算計上されなかったこと、またマイナカード交付促進事業について反対する。

賛成の意見 中村芳朗

総合計画の価値創造プロジェクトに基づき予算編成が行われている。予算成立が遅れると市民生活に及ぼす影響が計り知れない。

賛成の意見 中村今朝子

昨年から中学生の広島平和記念式典への派遣が再開。戦没者追悼式は、遺族会から毎年の開催は大変との声があったと聞く。形を変えて、平和学習を充実させていくことも、平和施策の一つではないか。

反対の意見 橋本裕二

議員の報酬増に反対したので、その1点について予算に反対する。

賛成の意見 竹内秀太郎

令和6年度の戦没者追悼式の開催見送りは、遺族会の意向を踏まえたものである。マイナカード交付促進事業は、日本の行政サービスが先進国に近づくために必要な事業。

賛成の意見 一志信一郎

会計年度任用職員は、毎年の更新が原則。上限は国が3年、安曇野市では5年。できるだけ身分の安定が図られるようにしている。

オンラインによる常任委員会の録画配信が始まりました。
各委員会ページの二次元コードからご覧いただけます。



総務環境

市長・副市長・教育長・
議員の給与等に関する
条例の一部改正

賛成多数
可決
すべきものと決定

報酬引き上げの実施時期について、令和
6年4月からではなく、次期の市議会議
員選挙後という意見は検討されたか。

令和6年4月1日からの施行が適当であ
るとする審議会の答申を受けたので、そ
のほかの時期の検討はしなかった。

反対の意見

井出勝正 小林純子

議員は自らの報酬について、根拠に基づいて
検討し、市民に理解を求め認めてもらう経過が
重要。18年間引き上げがなかったからといって、
それが即引き上げの理由にはならない。市民生
活全般を考えると、今のこの時期に議員報酬を
引き上げるとは認められないので、反対する。

賛成の意見

大竹啓正 松枝 功
竹内秀太郎

議員等の特別職の報酬については、公正公平
性を保つために審議会に諮問し、答申を受けて
決めている。審議会は、議員報酬のこれといっ
た基準がないなか、安曇野市と類似する自治体
との比較・評価・検討等を通して、総合的に妥
当な判断をされたと考え、賛成する。

総務環境委員会では、付託された令和5年度安曇野市一般会計補正予算（第10号）を含む議案2件を2月20日に、
令和6年度安曇野市一般会計予算を含む議案5件を3月8日に、追加議案3件を3月19日に審査しました。
議案名や本会議での議決結果等 ↓ 24.5.9.10

令和6年度
安曇野市一般会計予算
（総務環境委員会所管事項）

賛成多数
可決
すべきものと決定

一般会計・新年度予算に関する質疑から

問

消防団員の準中型自動車免許取得に対す
る助成金の内容は。

答

道路交通法改正により新たに「準中型自
動車免許」が創設され、改正以降に普通
自動車免許を取得した人が運転できる車
両は総重量3.5トン未満に限定された。

問

そのため、準中型免許取得に対し、15万
円を上限に実際にかかった額を助成する。
ふるさと納税について、本市への入りと
出の状況は。本市の市民が他の市町村の
返礼品を目当てに納税している状況を、
どうとらえているか。

答

令和4年度の寄附受け入れ額は約5億
8千万円。住民税として控除した額は
1億4千万円。返礼品等の経費が2億4
千万円。差し引き約1億9千万円の黒字。
ふるさと納税が過当競争とも言える状況
になっているので、新しい返礼品の開発
にも力を入れていきたい。
公共交通・あづみんのーとの土日祝
日運行が実現するが、スマートフォン
アプリ予約が電話予約に優先する現状への
対策は考えているか。

問

公共交通・あづみんのーとの土日祝
日運行が実現するが、スマートフォン
アプリ予約が電話予約に優先する現状への
対策は考えているか。

トピック

ヘルメット購入に補助金
自転車乗車時のヘルメット着用努力義務

ヘルメットの着用率を上げるため
に、「購入費用の2分の1（上限3,000
円）とし補助する事業」を3年間限定
で行います。（令和4
年11月以降に購入し
た方も、領収書があれば、遡って補助事業
の対象となります。）



答

運営業者や予約システム等との調整をし
ながら、電話予約も取りやすいような環
境づくりに努めていく。

反対の意見

井出勝正

マイナカード交付事業については、国が進め
る事業だからと盲目的に従い、職員が家庭訪問
して申請を補助するサービスまでもが盛り込ま
れたが、そこまで市が行う必要があるのか疑問
なので反対する。

賛成の意見

松枝 功

政府が進めることについて、行政としては
爾々と応じざるを得ず、予算化されたものと
思うので賛成する。

オンラインによる常任委員会の録画配信が始まりました。
各委員会ページの二次元コードからご覧いただけます。



福祉教育

安曇野市介護保険条
例の一部を改正する
条例

賛成多数
可決
すべきものと決定

令和6年度安曇野市
介護保険特別会計予算

賛成多数
可決
すべきものと決定

反対の意見

白井泰彦

所得が420万円を超える階層の保険料負担
を増やす内容である。国庫負担割合を増やさな
い限り、保険料は今後ますます増え続ける。市
長会を通じた要望は効果がない。有効な手段で
国に強く要求すれば市民の理解も得られる。

賛成の意見

中村今朝子

保険料を抑えられるに越したことはない。少
子高齢化が加速し、団塊の世代が75歳以上にな
る2025年が来年に迫ってきている。そとい
う中で持続可能な介護保険制度を維持するため
に国も考えている。重要な制度である。

福祉部に関する質問・答弁

放課後等デイサービスについて

障がい児通所支援の中の一つのサービス。
放課後や休日、夏休み等の長期休業中に、生

教育部に関する質問・答弁

放課後児童クラブについて

穂高北小、堀金小に
ついては既に6年生ま
で受け入れている。令
和6年4月からは、豊
科北小、穂高南小、穂
高西小、明北小、明科
児童館（明南小）で小
学6年生まで受け入れる。他については、令
和6年度より順次、必要な改修を行い整備し
ていく。



答

受け入れが6年生まで拡大されていくが、
対象から外れる低学年児童の受け入れを
希望する声をどう考えるか。
各施設の整備が整っていくので、今後研
究していく。

トピック

令和5年6月定例会
広い駐車場の設置を求める陳情採択に応じて
穂高北小学校の北グランド駐車場
進入路整備など
令和6年度予算に300万円

- 内容は、北グランド出入口を4mほど広くし、
安全を考えてガードパイプを増設する計画。
- 敷地内で駐車場を確保するもので、敷地外に
広げる土地購入は検討されていない。



保健医療部に関する質問・答弁

不妊・不育症治療費助成について
経済的負担軽減と少子化対策を目的とし
て、自己負担する治療費の3分の2で、上限
30万円の助成を行う。

国の保険適用は、43歳までだが、安曇野
市では年齢制限はあるのか。

安曇野市では年齢制限はない。回数は5
回までとなっている。

保健医療部に関する質問・答弁
不妊・不育症治療費助成について
経済的負担軽減と少子化対策を目的とし
て、自己負担する治療費の3分の2で、上限
30万円の助成を行う。

保健医療部に関する質問・答弁
不妊・不育症治療費助成について
経済的負担軽減と少子化対策を目的とし
て、自己負担する治療費の3分の2で、上限
30万円の助成を行う。

保健医療部に関する質問・答弁

不妊・不育症治療費助成について

経済的負担軽減と少子化対策を目的とし
て、自己負担する治療費の3分の2で、上限
30万円の助成を行う。

国の保険適用は、43歳までだが、安曇野
市では年齢制限はあるのか。

安曇野市では年齢制限はない。回数は5
回までとなっている。

総務・政策・財政・環境

議案番号	件名	結果
1号	安曇野市特別職の職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
2号	安曇野市長等の損害賠償責任の一部免責に関する条例	
3号	地方自治法の改正に伴う関係条例の整備に関する条例	
4号	安曇野市手数料条例の一部を改正する条例	
5号	安曇野市印鑑条例の一部を改正する条例	
13号	令和5年度安曇野市一般会計補正予算（第10号）	原案可決
24号	令和6年度安曇野市一般会計予算	
43号	安曇野市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例	
44号	安曇野市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例	

健康・福祉・教育

議案番号	件名	結果
6号	安曇野市介護保険条例の一部を改正する条例	原案可決
7号	安曇野市地域包括支援センターの包括的支援事業を実施するために必要なものに関する基準を定める条例の一部を改正する条例	
12号	安曇野市児童館条例の一部を改正する条例	
14号	令和5年度安曇野市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	
15号	令和5年度安曇野市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	
16号	令和5年度安曇野市介護保険特別会計補正予算（第3号）	原案可決
25号	令和6年度安曇野市国民健康保険特別会計予算	
26号	令和6年度安曇野市後期高齢者医療特別会計予算	
27号	令和6年度安曇野市介護保険特別会計予算	
37号	令和5年度（債務負担行為）三郷東部認定こども園建設事業機械設備工事請負契約について	
38号	損害賠償の額を定めることについて（公用車事故に関すること）	原案可決
39号	土地の取得について	
45号	安曇野市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	
46号	安曇野市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	
47号	安曇野市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	
48号	安曇野市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例	原案可決
49号	令和5年度（債務負担行為）堀金学校給食センター設備更新事業厨房機器等更新工事変更請負契約について	

報告事項

報告番号	件名	結果
1号	地方自治法第180条の規定による専決処分の報告について（公用車事故に関すること）	受理

産業・経済・観光・水道

議案番号	件名	結果
8号	安曇野市三郷堆肥センター等条例を廃止する条例	原案可決
9号	安曇野市体育施設条例の一部を改正する条例	
10号	安曇野市水道事業給水条例の一部を改正する条例	
11号	安曇野市布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部を改正する条例	
17号	令和5年度安曇野市上川手山林財産区特別会計補正予算（第1号）	
18号	令和5年度安曇野市北の沢山林財産区特別会計補正予算（第1号）	
19号	令和5年度安曇野市有明山林財産区特別会計補正予算（第1号）	
20号	令和5年度安曇野市富士尾沢山林財産区特別会計補正予算（第1号）	
21号	令和5年度安曇野市穂高山林財産区特別会計補正予算（第1号）	
22号	令和5年度安曇野市水道事業会計補正予算（第1号）	
23号	令和5年度安曇野市下水道事業会計補正予算（第2号）	
28号	令和6年度安曇野市上川手山林財産区特別会計予算	
29号	令和6年度安曇野市北の沢山林財産区特別会計予算	
30号	令和6年度安曇野市有明山林財産区特別会計予算	
31号	令和6年度安曇野市富士尾沢山林財産区特別会計予算	
32号	令和6年度安曇野市穂高山林財産区特別会計予算	
33号	令和6年度安曇野市産業団地造成事業特別会計予算	
34号	令和6年度安曇野市有明荘特別会計予算	
35号	令和6年度安曇野市水道事業会計予算	
36号	令和6年度安曇野市下水道事業会計予算	
40号	公の施設の指定管理者の指定期間の変更について（安曇野市三郷堆肥センター）	
41号	地区土地利用計画について	
42号	市道の認定について	

議員提出議案

提出番号	件名	結果
1号	安曇野市議会委員会条例の一部を改正する条例	原案可決
2号	安曇野市議会会議規則の一部を改正する規則	原案可決

経済建設

オンラインによる常任委員会の録画配信が始まりました。各委員会ページの二次元コードからご覧いただけます。

令和6年度安曇野市一般会計予算（経済建設委員会所管事項）

全員賛成可決

天蚕振興について

天蚕の収量安定化や天蚕の繭を製品化し量産できるのか。また、地域おこし協力隊員の活動状況は。

答

収量の安定化と量産について、これまでには織り手の育成などに力を注いできたが、最近では猿の被害や病気が問題となり、これらの対策に予算を割いている。猿害対策としては、天蚕振興会にネットを支給し、猿害の防止を行っている。収量の安定化には、病気や土壌の状態を科学的に調査し、その結果を来年度の飼育に活かす予定。過去は収穫量が多かったが、現在は減少しているため、回復を目指して取り組んでいる。地域おこし協力隊員は飼育に従事し、繰糸や織りなど広範な知識を身に付け、天蚕の啓蒙活動を穂高北小学校などで行っている。3年目にはミシシヨンの取りまとめをする予定。天蚕振興事業について、収量が減っており将来的な持続性を憂慮している。天蚕試験場の改善や新たな圃場を整備するなど、技

問

天蚕振興事業について、収量が減っており将来的な持続性を憂慮している。天蚕試験場の改善や新たな圃場を整備するなど、技

答

術的な発展を図る必要があるのでは。現在、天蚕を飼育している農家は約10軒で、その内いくつかは自分の畑で飼育している。県が所有する旧蚕業センターの用地を市が借り上げ、振興会に貸与して使用している。振興会では試験場で飼育を行うほか、自分の圃場で飼育を行っている振興会員もいる。近年、試験場での調査によってその影響が分かってきている。今後は、圃場のローテーションを組んで安定した収量を目指し、将来的には新しい圃場も含め、担い手を育成したい。

登山口駐車場管理システム構築業務について

問

登山口駐車場管理システム構築業務とは具体的にどのようなものか。また、どこに登山口駐車場に設置されるのか。三股の登山口駐車場に設置を検討している。他の登山口については電源や通信機器の関係から検証して判断する予定。登山口や林道、県道のゲートにはセンサー・カメラを設置し、出入りを監視し、情報共有するシステムを構築する。

答

登山口駐車場管理システム構築業務とは具体的にどのようなものか。また、どこに登山口駐車場に設置されるのか。三股の登山口駐車場に設置を検討している。他の登山口については電源や通信機器の関係から検証して判断する予定。登山口や林道、県道のゲートにはセンサー・カメラを設置し、出入りを監視し、情報共有するシステムを構築する。

問

市が循環型農業を推進している中で、農家が自主的に堆肥を作り、市民に配布することが提案されている。循環型農業を目指す上で、有機肥料の重要性が指摘されており、廃止によって有機肥料が必要な農家に十分供給されるのか。

答

みどり戦略に基づく有機農業への取り組みは重要。現在は、堆肥受け入れ農家が7軒あるが、堆肥製造に関して建設費の補助をしている。今後はJAなどと連携しながら検討していく。

問

三郷堆肥センターが提供していた優良堆肥と同等な量や品質を確保することができるのか。

答

堆肥センターの供給量と同等になるかはなんとも言えないが、現在は3つの事業者が堆肥を提供しており、市ではこれを案内している。また、市のホームページでも堆肥の販売について掲載し、需要をカバーする取り組みを行っている。

安曇野市三郷堆肥センターについて



全議案のうち賛否が分かれた議案等

				○：賛成 ×：反対 欠：欠席 除：除斥 退：退席 議：議長																					
議案等 番号	議員名 議案名	議決日	議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	10	11	12	13	14	15	16	18	19	20	21	22		
			矢澤 毅彦	中村 芳朗	大竹 啓正	増井 裕壽	岡村 典明	辻谷 洋一	橋本 裕二	臼井 泰彦	竹内秀 太郎	中村今 朝子	林 孝彦	井出 勝正	増田望 三郎	猪狩久 美子	内川 集雄	宮下 明博	一志信 一郎	平林 明	小林 純子	松枝 功			
議 案 第 1 号	安曇野市特別職の職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例	3/19	原案 可決	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	×	議		
議 案 第 6 号	安曇野市介護保険条例の一部を改正する条例	3/19	原案 可決	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	議		
議 案 第24号	令和6年度安曇野市一般会計予算	3/19	原案 可決	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	×	議		
議 案 第27号	令和6年度安曇野市介護保険特別会計予算	3/19	原案 可決	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	議		

予 告



第11回 議会報告会

会場およびオンライン（Zoom（ズーム））の同時開催で行います。
お気軽にご参加ください。

日時

令和6年 7月20日(土)
午後6時~午後8時30分(予定)

会場

安曇野市役所 4階大会議室

内容

○令和5年7月から令和6年6月までの議会活動
○要望・意見交換



詳細は後日市議会ホームページに掲載します。



会派 さきがけ 矢澤 毅彦

ペットの災害対策
準備できていますか？



問 消防団に配備されているヘルメットが軒並み耐用年数を経過している可能性が高い。団員の身体を守る必需品は、設置自治体である安曇野市によって、必要数分の配備や更新が必要ではないか。

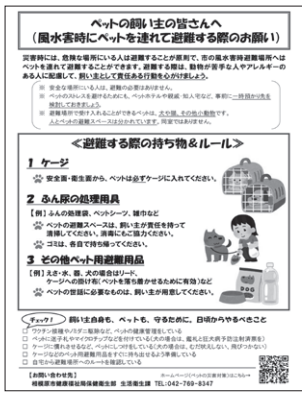
危機 ヘルメットについては、必要に応じて随時交換を行っていく予定。令和6年度は170個程度の更新を予定している。

問 ペットの災害対策について、あまり知られていない現状である。ホームページへの掲載や市内のペットに関連する事業者、動物病院と協力し、周知や啓発はできないか。

危機 情報発信は大変大切。ペットの災害対策については、他市町村も参考にし、ホームページ等で積極的に情報を発信していく。周知方法の一つとして、事業者や動物病院などとも連携を図るよう研究していく。

「父子手帳」の交付は

問 母子健康手帳の交付の際に、県制



飼い主への呼びかけチラシの例
(神奈川県相模原市発行)

保健 安曇野市のホームページから県のながのパパ手帳へアクセスできるようにしていきたい。子育てガイドブックや子どもノートなどを活用して子育ての支援をしていく。

「その他の質問事項」
○市民生活に関わる事象（ダメごみの回収、三郷堆肥センター）
○ライフプラン、AMH（卵巣予備能検査）検査等の保険適用外の検査について
○防災（消防団、トイレなど）



会派 さきがけ 辻谷 洋一

いつか来るエンディング
終活支援の方向性は



問 終活に市としてどのように向き合
い、支援が必要か。

福祉 本人の意思決定が適切にされるよう取り組みは重要。ACPに関する講演会等を実施し啓発を進める。

生活 エンディングノートの配布を。
問 「わたしの絆ノート」という表題でエンディングノートを発行している。本庁舎や支所の窓口、市の区長会や社会福祉協議会へも配布して、市民の皆さんに無料で提供している。

福祉 万が一の治療やケアの重要な手助けとなることがあるので、様式やあり方そのものについて医師会とも相談し調整していく。

問 専門部署や窓口の設置が必要では。
福祉 高齢者の総合相談窓口の地域包括支援センターが、すべての高齢者に対して、警察、消防、医療機関などの関係機関と連携しており、この総合相談窓口が専門部署の役割を担っている。終活について相談や支援が可能な窓口である。





会派 きぼう
一志 信一郎

堀金倉田く岩原・ 田尻く田多井 歩道は



問 市道堀金1級1号線倉田から岩原公民館前の歩道整備は、令和2年度は概略設計や事業化に向けての説明会を実施、令和3年度より社会資本整備総合交付金を国に要望、事業を行う計画。この道路全長1.5キロメートルは、児童生徒、園児約120人の通学路であり、地域住民の生活道路。早急に事業着手し、完成させ、安全・安心な地域づくりをしたいが、どうか。

市長 この道路は、小中学校の通学路に指定されている。児童生徒の安全対策として歩道を整備し、安全・安心な道路となるよう地元の皆様から御協力いただき進めていきたい。工事の完成時期は、用地等まとまった箇所ができたところから段階的に整備し、全線はおおむね10年以内の早い段階での完成を目途に進めたいと考えている。

問 県道安曇野インター堀金線田尻から田多井までの歩道整備は、約20年前に堀金小学校から歩道整備が始まった。地域住民の通勤道路が、



主要地方道田尻の五差路東の歩道整備場所

小・中・高校生の通学路である。現在、小学校から約350メートル工事済である。残りの、全線約800メートルの進捗状況を伺う。

建設 令和6年度5月頃には、五差路東側から工事着手したい、と県から聞いている。

市長 主要地方道の田尻から田多井の間は、歩道が未整備で、特に神社前のカーブの見通しが悪く、地元の田尻区と田多井区から歩道整備要望がある。県と連携し、事業促進を図る。



会派 あづみ野
中村 今朝子

防災・減災対策



問 災害対策本部の業務継続性確保のための非常用電源について伺う。

総務 本庁舎には非常用のディーゼル発電機を備え、最低72時間運転可能な燃料を貯蔵している。災害対策本部と危機管理室では50%点灯。電源コンセントは、全体の40%が使用可能。毎月1回定期的に機器点検、作動点検を実施している。

問 大手損害保険会社では、水害時の保険金支払いのために調査した被害状況を契約者同意の上、罹災証明書発行の資料として無償提供する協定を多くの自治体と結んでいる。本市も導入してはどうか。

総務 罹災証明書交付の迅速化は期待できるが、被災者に被害認定調査との間で混乱を生じさせないよう留意する必要がある。関係機関と協議していく。

問 災害時にハンディがある障がい者に向けた、備えや対応方法、自力で避難することが困難な人や、障がいの種別にあつた適切な支援方法を紹介する、防災ハンドブック



福祉 他市の状況や、費用対効果も考え、障がいのある方が、より簡単に効果的に意思表示ができる方法を研究していく。

問 外見からは支援が必要であることが分かりづらい、障がいのある方が、災害時に肩等にかけて、支援が必要であることを示すための、災害時障がい者支援用バンダナを配布してほしいがどうか。

福祉 災害に備え、災害時に適切な行動ができるよう、障がい者のための防災ハンドブックは有効な手段だ。作成方法は関係課と協議する。

を作成してほしいがどうか。



会派 きぼう
竹内 秀太郎

大規模地震に対する 本市の備えについて



問 能登半島地震と同規模の地震が本市で起きたとき、本市でも同様な被害や問題が起こるか検証し検討はしたか。そして、本市で重要になる備えは何であると考えているか。

等を準備していることが重要と考える。

小規模農家の支援策について

問 ふるさと寄附の返礼品として農産品を増やす取り組みについて市長のリーダーシップでJAなどと協力し、新規事業として取り組みぬい。

市長 これまでJR東日本と連携したあずさマルシェをはじめとした県外でのPR、魅力ある返礼品の発掘に取り組みたい。



能登半島地震への支援活動（給水支援）



会派 きぼう
岡村 典明

弓道場新設は…



問 弓道場新設に関して、現在の考えを伺う。

商工 弓道場新設に関しては、令和5年7月、関係団体に検討結果を報告して、市から提案を行った。現在、その回答を待っている状況である。

問 弓道関係者・市・市民とのコミュニケーションの確立をどう考えるか。

商工 状況に応じて意見交換会などを行い、関係団体や利用者、市民の皆さんの合意を得ながら、今後の方針を検討していく。

子ども食堂の現状と課題

問 現在の子ども食堂の状況について伺う。

福祉 子ども食堂は市内で3団体が運営している。現状把握は、担当職員が直接現場を見学し、運営者側から現状、要望を聞いている。

問 子ども食堂の拡大が進まない要因について伺う。

福祉 子ども食堂を運営しようとする意欲のある人の発掘が進んでいないのが現状である。相談自体6件受

けているので、今後に期待したい。

除雪体制について

問 除雪エリアの拡大はできないか。

建設 深夜から作業を行い、朝の通勤時間に間に合うよう実施しており、時間の制約があることから、今以上に増やすことはできない。

グリーンベルト設置について

問 豊科北小学校から徳治郎信号までのグリーンベルト設置計画の進捗状況について伺う。

建設 令和6年度に整備を予定している。



子ども食堂で提供されたお弁当



無所属
内川 集雄

**安全で安心に暮らせる
ことができるまち**



問 細萱交差点の信号機、押しボタン方式から、半感応式信号機にするための、必要な幅5.5メートル以上の交差点道路改良を求める。

建設 交差点改良が必要であることを確認している。用地取得などいくつかの課題があり、課題の解決に取り組む、安全・安心に通行できる交差点を目指し、関係者や関係機関へ相談をしながら取り組む。

総務 JAや農家等に協力をいただき、訳ありリンゴをふるさと寄附の返礼品に加える方向で調整していく。

「訳アリ返礼品と派遣型」寄附

問 安曇野市には人材派遣型企業版ふるさと納税を活用した民間からの積極的派遣受け入れを提案する。

総務 先行自治体から情報を集め、人材派遣型の活用が図れるよう、関係部局等と協議していく。

問 傷があっても、形が悪くても、安曇野のリンゴは美味しい。自主財源確保の安曇野ふるさと寄附の一翼を担っていただきたい。訳ありリンゴを安曇野ふるさと寄附の返礼品メニューに加えることを提案する。



待たれる細萱交差点道路改良と半感応式信号機

総務 J Aや農家等に協力をいただき、訳ありリンゴをふるさと寄附の返礼品に加える方向で調整していく。

「公契約条例」を求める

問 労働環境の整備は事業者側にとっても優秀な担い手確保や育成、健全で安定した経営環境につながる。安曇野市も公契約条例を制定していただきたい。

総務 社会全体の状況把握や実務体制も含めた検証が必要と考える。引き続き調査研究を行う。



会派 あづみ野
宮下 明博

**過疎明科を再生し
安曇野市を県の中心都市へ**



問 安曇野北インター（仮称）周辺150haの大規模開発について道路の土地交渉の前か同時に意向調査をして進めるべきではないか。

市長 すでにアンケート調査は実施し187名の回答を得、農地保全の考えがある一方、相対的多数は農地以外の土地利用に協力すると捉えられる。適時に関係者の意向調査を行うっていく必要があると考える。

問 会派で視察した埼玉県三郷市と群馬県前橋市は、IKEAとコストコの誘致によりその街は大きく発展することを、身をもって感じた。誘致の可能性が高いコストコをインター周辺に誘致できないか。

市長 状況に応じた情報収集や調査を行い、タイミング等を見ながら慎重に検討することが必要。

問 半導体の供給強化を巡る各国の競争が激化している。会派で視察した熊本県菊陽町TSMCに日本政府も1兆2千億円の支援をし、経済効果は6兆8千億円とのこと。地下水豊富なインター周辺への誘致に乗り出せないか。



松本糸魚川連絡道路（イメージ図）

市長 長野県と連携し、情報を得ながら半導体関連企業も含め、安曇野市内の経済を牽引（けんいん）できる企業誘致を進めたい。

問 将来、インター周辺は長野県最大の集客地になると信じている。大型車が自由に入出力できるインターで、すれ違いができる側道にすべきではないか。

建設 側道については農作業用として利用されている現道の機能回復を目的としている。今後の土地利用の動向に応じて道路規模の検討を行っていく。



無所属の会
橋本 裕二

**給食費無償化、
夏休みの昼食提供 他**



問 市の目標である合計特殊出生率2.07を現時点で実現しようとすれば出生数はあと何人必要か。（令和5年出生数551人）

政策 あと320人程度必要。
問 小・中学校の給食費無償化を実現するには追加的にいくら必要か。実現できないのか。

教部 小学校2億2511万1000円、中学校1億3974万円。
市長 こども未来戦略方針を決定した国の動向を注視している。市単独の給食費無償化は考えていない。

問 15年前の市の出生数は800人。今は551人。今後15年間は転入がよほど多くない限り中学生の数は減る。まず中学校から給食費を無償にできないか。

市長 県がかじを切れば、それに賛成し一緒に歩調をとりたい。
問 児童クラブで、夏休みに昼食を提供できないか。

教部 現状では難しいが、保護者のニーズや全国の事例などを研究する。
問 少子化社会は子のこと考える大



夏休みも、
給食がほしい！
（児童クラブ）

共働き世帯、ひとり親世帯の夏は忙しい。

市長 現時点では難しい。
問 出生率を高めるにはジェンダー平等が必要という研究がある。部長職の女性割合の目標値を改めては。職の女性割合の目標値を改めては。

市長 令和10年4月までに部長職11人中3人と引き上げた。
問 令和4年度決算の基金残高は計画対比55億円もの上振れがあった。特に次世代を担う子育て世代や子ども達に積極的な投資が必要だ。皆さんの声を聞き市民益につながる事業を実施する。子育て支援は最も力を入れているところ。

問 令和5年度事業の評価を市長に伺う。

市長 予定された事業はおおむね順調に進んでいると認識している。主に、子供の居場所づくり支援事業、放課後児童クラブの受入れ体制を6年生まで拡大するための整備事業、首都圏や海外に安曇野の農産物販路拡大PR事業。芸術系大学と連携し、若い芸術家を迎え市内で滞在制作するアーティスト・イン・レジデンス事業、安曇野市東部アウトドア拠点整備構想による過疎対策基本構想の策定など、市の目指すべき将来ビジョンにむけた事業展開を進めてきた。

問 令和6年度予算は、市の将来ビジョン「自然・文化・産業が織りなす共生のまち安曇野」を目指して予算化したと述べている。特に重点とする事業について伺う。

市長 総合計画で示す5つの価値創造プロジェクト「誰もが活躍する共生のまち」「選ばれ続けるまち、安曇野」「安曇野ブランドの発信」「文化・芸術」の4つを軸に、5つの価値創造プロジェクトを推進していく。特に重点とする事業について伺う。



復刊を目指す小説「安曇野」の本



**令和5年度事業の評価と
新年度予算について**

芸術中核都市の実現「アウトドアスポーツの聖地化」に基づく事業を重点に予算編成した。主なものは、母子子育て支援、公共交通の充実、中学生のキャリアフェスティバル推進事業、農産物販売促進PR事業、臼井吉見の小説「安曇野」の完結50周年の節目での復刊、鐘の鳴る丘集会場整備事業による文化芸術活動の推進、第10回記念ハーフマラソン、安曇野市東部アウトドア拠点整備事業などが新年度予算における重点事業だ。



日本共産党
安曇野市議員
井出 勝正

他の障がい同様に 精神障がいにも入院助成を



問 障害者権利条約は障がいによる差別を禁止している。精神障がいだけに入院助成しないのは差別では。

福祉 精神障がいには措置入院など公費負担がある。福祉医療制度だけで差別には至らない。

問 近隣自治体や国、県の動向を注視するが決まり文句だが、中信で未実施は当市と松本市、小谷村だけだ。旧明科町は入院助成を行っていた。福祉の後退では。

福祉 旧明科町の方はサービス低下だが、当時より制度拡充がされている。

問 精神障がいの人が安心して治療が受けられるために、差別せずに入院助成に踏み出すべきではないか。

福祉 市は、所得制限なしの通院費助成を拡大してきた。入院費補助は自立支援医療制度の対象にない。県に助成拡大を要望していく。

市長 陳情の身体障がい、知的障がいと足並みをそろえてという声は受け止めている。差別とは思っていない。福祉や教育とか、全体を見ていただきたい。引き続き検討する。

問 県の中学3年までの医療費助成の拡大財源を、1レセプト500円の解消などに使ったらどうか。

福祉 18歳完全無料は過度の受診を招く。当面窓口500円は負担してもらおう。県の動向に注視する。

食料供給困難対策法は戦時経済だ

問 政府が農家に農産物や生産計画を求め、拒めば20万円以下の罰金を科す法は、戦争経済ではないか。

農林 法案は国の段階で協議中である。

市長 食料不足に対し生産者に政府は、生産拡大や生産転換を要請、指示できる。大規模自然災害対応だ。

精神障がい入院費助成がない県内市町村 38 自治体—中信は3自治体のみ

東信	青木村
北信	長野市、中野市、飯山市、千曲市、小布施町、山ノ内町、信濃町、飯綱町、高山村、野尻温泉村、小川村、栄村
中信	松本市、小谷村、安曇野市
(注：合併前の旧明科町では助成があった。)	
南信	岡谷市、諏訪市、茅野市、駒ヶ根市、飯田市、下諏訪町、富士見町、辰野町、飯島町、松川町、高森町、阿南町、中川村、宮田村、阿智村、平谷村、根羽村、売木村、天龍村、桑阜村、蕎木村、豊丘村、大蔵村

(長野県健康福祉政策課資料より)

精神障がい入院助成がない県内の市町村



無所属の会
林 孝彦

自転車を通じた 地域の活性化・観光誘客を



問 活性化・誘客の目標と取り組みは。

市長 サイクルスポーツの推進を図る。

問 安曇野市自転車ネットワーク計画と安曇野サイクルブランド促進を。

商工 自転車を活用した滞在型観光推進と認知度の向上を目指す。

問 全日本実業団自転車競技連盟と連携協定を締結し、地域の活性化やサイクルツーリズムの振興を。

問 安曇野市に合った取り組みを検討。

商工 政策提言と採択の請願陳情の反映

問 施策への反映の目標と取り組みは。

市長 趣旨を尊重し対応を検討している。

教長 実現可能性を考慮し対応している。

問 エネルギーの地産地消、不登校支援、松糸道路で市内経済活性化は。

生活 屋根置き太陽光発電、小水力発電などで地球温暖化対策に取り組む。

教部 不登校への必要な施策を展開する。

建設 道路整備は県と連携し事業を促進。

商工 地域経済の発展を目指す。

問 化学物質過敏症の香害対策を。

保健 周知啓発を行なっていく。

生活 香害に関する相談は年に1、2件。



サイクリングにも通勤などにも
自転車を活用しよう！



日本共産党
安曇野市議員
白井 泰彦

安曇野市の地震災害に どう備えるか



問 今回の地震では、福祉避難所の周知不足や、家族の介護に不安な人などが、住宅倒壊の不安を抱えたまま自宅に住み続けたり、車中泊をするなどで避難所入所をためらう人が大勢いた。支援計画はどうなっているか。

危機 要配慮者等が市内のホテル等への避難受け入れ協定を締結している。福祉避難所、医療救護所等の周知、地域協力を得ての安否確認、避難状況の把握に取り組んでいく。

問 (1)各指定避難所ごとのレイアウト案はできているか。仕切り、テント形式の空間づくりの確保は。(2)トイレや段ボールベッドの確保は。(3)学校給食センターの活用は。

危機 (1)できてない。(2)食料の備蓄を含め、人口の5%程度を基準に進めている。民間企業との提供に関する協定もある。(3)利用していきな

問 (1)DWA^{*}Tの派遣計画は。(2)福祉避難所へ対象者が直接避難するための計画の策定は。(3)災害時、介

安曇野市で想定される震度7の地震被害

	安曇野市の想定被害	能登半島地震の全被害
死者	200人	241人(2月28日現在)
負傷者	2,170人	1,299人
重傷者	1,050人	
全壊・倒壊	5,070棟	7,737棟
半壊	8,630棟	12,681棟
被災2日後の最大避難者	24,660人	11,600人 二次避難者 4,700人以上
同 電力停電数	41,290軒	40,000戸(発災時)
被災直後の断水人口	92,640人	68,200戸(石川県内7市町)
同 下水道の支障人口	85,740人	殊洲市で被害確認済 94%

能登半島全体と同程度の被害が市内で想定される



無所属の会
増田 望三郎

北小倉廃棄物処理施設問題は 新たな局面に



問 北小倉にある民間事業者の廃棄物処理施設をめぐる約14年におよぶ住民訴訟が終結し、原告住民と被告安曇野市という対立関係が解消された。訴訟は終わったが、住民生活への影響や汚水の地下浸透の疑念、今後稼働が予定される大規模な汚泥堆肥化処理施設など、懸念材料が残っている。裁判終結により本事業は新たな局面に入ったが、市長の総括と行政は今後どのような対応をしていくのか。

市長 長い期間、原告であった住民には大変な御苦労があった。裁判が終結し、今後も地域住民の健康を守り、安全な生活環境を保全していくのは市の責務。廃棄物処理法に基づいた監視・指導を行っていく。

問 住民が業者を監視し、何かあれば即座に行政が関与する、住民と市の連絡会議開催を提案するが。

生活 地域の皆様と調整を図っていく。

子ども園、幼稚園と小学校の接続

問 園から小学校への連携、接続は子



東京高裁に傍聴に向かう地元住民の皆さん

教長 どちらにも必要不可分なもの。園小、さらに中学校との間で相互理解を深め、一貫性ある教育を連携、協力し合って推進することを目指す。

問 ^{*}スタートカリキュラムはあるか。

教長 学校によって形は違うが、各小学校ともそれを意識し実践している。



日本共産党
安曇野市議員
猪狩 久美子

災害時の避難所運営に 女性の視点を



問 安曇野市防災会議39人中女性委員は6名で15%となっている。女性委員をさらに増やす考えはないか。

市長 令和9年、30%の達成が目標だ。現在38名中8名が女性委員だ。委員構成の見直しや関係団体への理解を促進し、女性委員の増加を目指すしたい。

問 避難者の多様性に配慮し、特に避難所での女性のニーズに対応できる市の女性職員の配置は。

危機 可能な限り男性と女性をセットで配置できるよう工夫する。

問 避難所運営委員会に女性を加えるべきでは。また、運営に当たる女性リーダーの養成講座など行う考えはあるか。

危機 避難所運営委員会に3割以上の女性が含まれる。積極的な女性の参加を図っている。県主催の自主防災組織リーダー研修会に女性の参加者が増えるように努める。

問 トイレは男女別、多目的トイレ、更衣室や授乳室、洗濯干し場などプライバシーに配慮した設営か。

危機 避難所運営マニュアルには、男女のトイレ場所を離れて設置、多目的トイレ、女性専用スペースの設置、防犯ブザーの設置や男女ペアによる巡回警備、女性専用相談窓口の設置などの対策がある。

問 洗濯機・乾燥機をセットで設置する連携協定を事業者と結ばないか。

危機 市内外事業者との協定を研究していく。

【その他の質問事項】
○第9期介護保険事業計画



無所属
小林 純子

香害はシックハウス・スクール 更なる対策を



問 香害やシックスクールの影響を受けて、登校が困難になっている児童や関係者がいる学校では、どのような対策を講じているか。

教部 現在、市内の1校で確認している。教室の換気を頻繁に行うとともに、校内に無香料石けんや空気清浄機を設置し、香害の低減対策をとっている。一般市民も参加可能な研修会を専門家を招き開催したほか、学級懇談会で香害による体調不良について学んだ。市内全ての学校で啓発ポスター掲示、家庭へは注意喚起のチラシを配布している。

問 香害はシックスクール的一种で、学校の空気環境の問題である。学校環境衛生基準から見て適正な環境になっているか。市役所本庁舎の空気環境についてはどうか。

教部 小中学校と幼稚園では学校環境衛生基準に定める揮発性有機化合物等の検査を実施。基準を超える場合もあるが、その都度対応し適正な環境維持に努めている。

総務 建築物環境衛生管理基準により2

カ月毎に調査。適正な基準に収まるよう対応している。

問 香害の原因となる柔軟剤等の香料成分は、TVOC（総揮発性有機化合物）として測定可能。環境調査にTVOCを加えてはどうか。

教部 実施に向けてはまだ研究の余地があるので検討していく。

問 香害やシックハウスの予防に向けてさらなる取り組みは。

教長 学校の養護教諭を対象とした研修会の開催を検討している。

総務 この問題への理解を深めるため、職員を対象とした講座等の開催を計画している。



柔軟剤の売上は20年間で倍増
香害は公害に拡大

表紙の写真について

今号の表紙は、在りし日（2021年撮影）の「常念道祖神」です。堀金の「常念道祖神」は、春には、安曇野の代名詞でもある残雪の常念岳と道祖神と桜を、ひとつの画角に納めることができる人気のスポットです。しかし、この冬には桜の大きな枝木が相次いで倒れており、今後はこれまでのような桜のボリュームにはならないと思われます。

全国的に「桜の寿命問題」も取り沙汰されております。自然を守る取り組みとともに、変わりつつある市内の今の風景も大切にしていきたいですね。



2024年春の常念道祖神

第73号における訂正について

前号・第73号の3ページにおいて、以下の訂正をします。大変申し訳ありませんでした。

○議会運営委員の写真と委員名の下にある紹介文を下記枠内のように訂正します。

議会運営委員会は、市議会全般について、市民の皆さんの負託にこたえられる運営や審議が進むよう、協議や意見調整を行っています。今期の課題として、ハラスメント防止等に関する規定等の策定に向け、議論を進めています。

○議会改革推進委員の写真と委員名の下にある紹介文を下記枠内のように訂正します。

議会改革推進委員会は、今期は市民から出された陳情採択を受け、議員平等の原則に基づき、委員会人事等における先例見直しを行います。また毎年やり続けている議会報告会の内容や形態の見直しを検討・協議します。その他学校や地域への出張議会の検討を行います。

問 北穂高地区は、美しい北アルプスの収斂された山並みが一望できる景観の眺望点に位置しており、自然との調和の美しさと人々の生活の営みの両方が見られる地域。今回の新たな産業団地整備計画は、市の発展にどのような影響を与えるのか。目指すべき安曇野の将来像と地域特性の活用は。

市長 「選ばれ続けるまち、安曇野」を実現するために、子育て世帯や移住者にとっても魅力ある生活環境、就労環境の整備に取り組む。北穂高地区には、松本糸魚川連絡道路が将来的に開通するため、市の地域特性に適した企業誘致を積極的に進め、新たな産業の参入、雇用促進に繋げていく。また、北アルプスとその麓に広がる人々の営みが調和した景観を維持しながら、産業振興と魅力ある生活就労環境の整備に努める。

問 産業団地周辺には、国道や県道、市道などの生活道路がある。ここに新たな渋滞等が発生し、地域住



無所属の会
増井 裕壽

北穂高地区の新たな 産業団地整備について



問 北穂高地区は、美しい北アルプスの収斂された山並みが一望できる景観の眺望点に位置しており、自然との調和の美しさと人々の生活の営みの両方が見られる地域。今回の新たな産業団地整備計画は、市の発展にどのような影響を与えるのか。目指すべき安曇野の将来像と地域特性の活用は。

民の生活環境が悪化しない対策は。立地事業者に対し、時差出勤の導入による通勤車両の分散など、ソフト施策の検討を依頼していく。

建設 産業団地の開発規模などに応じて県など関係機関と協議しながら検討する。今後、安曇野道路への出入口となる穂高北インター（仮称）および穂高南インター（仮称）が整備される計画となっており、周辺地域の道路環境も変わることが予想される。県など関係機関と調整を図りながら、周辺道路が地域にとって利便性が高く安全な道路が整備されるよう努めていく。



稲穂の夢 産業の夜明け 未来へ舞う

総務環境委員会

テーマ案

【移住定住促進のさらなる充実に向けて】



市の移住定住推進課との勉強会

令和5年11月28日に各委員が提出した政策提言案を検討し、12月15日に再度協議を行った結果、テーマ案を「移住定住促進のさらなる充実に向けて」に決定しました。

【決定の理由】

- ①人口の減少：2020年の国勢調査の結果をもとに、日本全体で人口の減少が予測されており、本市も2045年度の目標人口を84,000人と設定しています。
- ②人口減少の影響：歳入の減少や高齢化による社会保障経費の増加、公共施設・インフラの老朽化、サービスの低下、産業の衰退などの影響は大きいです。人口減少の抑制が重要です。
- ③人口減少の抑制策：自然増減率の改善と社会増加数を増やす取り組みが考えられます。

【検討の経過】

令和6年1月29日に市の移住定住推進課との勉強会を実施しました。また3月13日に再度勉強会を実施し、委員からは、県外からの社会増加数が2021年まではマイナスであったことや、松本市からの転入が多いことが指摘されました。

【今後の検討予定】

三郷小倉の事例の勉強会や、小田原市やNPO法人ふるさと回帰支援センターでの視察研修を予定し、移住者等の活動状況や他自治体等での取り組み状況について調査研究を行い、移住定住の促進策を検討します。



安曇野市議会は「安曇野市議会基本条例」に基づき（第12条 政策立案、政策提案及び政策提言）総務環境委員会、福祉教育委員会、経済建設委員会の3常任委員会ごとにテーマを決め、それぞれ視察・検討を重ね政策提言をしています。今回は「政策提言」が完成するまでの「提言の卵」と言えるものを皆さんにお送りします！

※途中経過については、会議の実施回数や議論のスピードにより若干バラツキがあります。

次世代の農業の担い手策を探索する
経済建設委員会移住定住施策を研究する
総務環境委員会子どもの権利条例制定に挑戦する
福祉教育委員会

福祉教育委員会

テーマ案

【条例制定に挑戦し、子どもの権利条例制定を】

福祉教育委員会の政策提言テーマ案は「子どもの権利条例の制定」です。

1989年に国連で採択された子どもの権利条約は、生命・生存・発達に対する権利、子どもの最善の利益、子どもの意見の尊重、差別の禁止を基本原則としています。日本では2023年に子どもの権利を擁護し、子ども施策の基本理念を定めたこども基本法が施行されました。この条約や基本法の趣旨を踏まえ、安曇野市でも子どもの権利を保障するための条例制定が待たれています。

今回は、子どもの権利条例の制定について「行政に要望するのか、それとも議会発議で条例をつくるのか」という議論がありました。市教育委員会は教育振興基本計画と子ども・子育て支援事業計画の策定を予定しており、子どもの権利条例制定についてはもう少し先になると考え「だったら、議会が主体となってつくろう！」という結論に至りました。議会がこのような条例をつくるのは初めてのチャレンジであり、通常、政策提言づくりの期間は1年間ですが、これから「2年間」かけて取り組んでいきます。今後は、市教育委員会と連携しながら学校関係者、保護者、子ども自身とも意見交換の機会を設ける予定です。



「はじめての一步。各自の考えを見える化し、条例づくりの道筋を描く」

経済建設委員会

テーマ案

【農業の担い手確保および土地利用等について】



政策の種 育てる農民の 微笑み声



高齢化している農業従事者は今後10年以内に担い手不足になる！支援策が重要だ！

農地を活用した農業体験型テーマパークを提言したい！



現在供給できる宅地が不足している！乱開発をせずにスムーズな宅地供給が必要！

後継農業者発掘のため、農家さんによるモーニングコールを提案したい！



家族農業や兼業農家の実態把握と課題解決をしたい！

果樹農家支援として、スマート農業やロボットによる効率化の支援を目指したい！



議会だよりモニターアンケート結果（72、73号）

安曇野市議会 議会広報特別委員会

長野県安曇野市豊科 6000 番地

アンケートの評価は以下の点数に変換しました。

良い	まあよい	普通	あまり良くない	良くない
5	4	3	2	1

議員

会派

議会事務局

モニター
アンケート

地図・
アクセス

モニターアンケート総合 4.3★★★★☆（アンケート回答総数 17 件）

表紙や見出し

4.4

★★★★☆

紙面構成と内容

4.3

★★★★☆

特集のページ

4.1

★★★★☆

定例会ページ

3.9

★★★★☆

常任委員会

3.6

★★★★☆

一般質問

4.1

★★★★☆

市民の声

4.8

★★★★☆

ずくだせ

4.2

★★★★☆

表紙や見出し

4.4★★★★☆

親しみやすく、内容ともマッチしていて良いと思います。（73 号）

（穂高地域 70 代）

紙面構成や内容

4.3★★★★☆

わかりやすいと思います。（73 号）

（穂高地域 70 代）

特集

4.1★★★★☆

どのような意見が出たのかわかりやすくまとめてあり、読みやすかったです。（72 号）
フレイルとは何 カタカナ文字には簡単な説明を。（73 号）

（三郷地域 10 代）

（穂高地域 60 代）

定例会

3.9★★★★☆

決算の認定とは何かということも書いてあり良いと思いましたが、その部分に見出しが
あった方が良いのではないかと思います。（72 号）

（三郷地域 10 代）

常任委員会

3.6★★★★☆

「議会運営委員会報告」では陳情の意図が理解されていない面も見受けられるが、今後の
審議に期待します。（72 号）

（穂高地域 70 代）

一般質問

4.1★★★★☆

議会全員で一般質問して下さい。年 4 回しかないので質問がない事はおかしいです。（73 号）

（穂高地域 70 代）

市民の声

4.8★★★★☆

若い方が市政に関心を持たれ、心強く思います。（72 号）

（穂高地域 70 代）

ずくだせ！議会だより 4.2★★★★☆

観光で安曇野へ来られる方の様子が実感できる。（73 号）

（穂高地域 70 代）

その他 モニターさんの声

- 委員会視察報告をもっと細かく記載して下さい。（72 号・穂高地域 70 代）
- 専門用語、行政用語は市民にはなじみがない。なんとかならないか。（73 号・穂高地域 60 代）

議会広報特別委員会からの返信

議会だよりモニターのみなさん、1 年間ありがとうございました。「議会だよりモニター制度が導入されてから 5 年間経ち、議会だよりの内容が進歩改善されたのではないか。」というご意見をいただきました。大きな改善ができたかと感じます。これからも様々なご意見をお待ちしています。

子ども基本法と子どもの権利条例について

日程 令和 6 年 2 月 15 日（木）

場所 安曇野市役所 3 階 全員協議会室

内容 長野県山ノ内町教育長 竹内延彦さんをお迎えし、「子ども基本法」と「子どもの権利条例」の基礎について学んだ。

子どもの生きづらさ…子どもたちが黙っているのは何も考えていないのではなく、言いたいことがないのでもないことを知り、大人のあり方、気持ちの持ち方を学んだ。

「子どもの権利条約」、生きる権利・育つ権利・守られる権利・参加する権利から 30 年後に「子ども基本法」ができたこと、また、「子ども基本法」は上位法、子ども主体・子どもあつての学校ということを理解した。

「子どもの権利条例」に関しては、条例のタイプ、条例検討のポイントについて学び、誰一人置き去りにしない社会、誰ひとり取り残さない社会を目指したい。



議会におけるハラスメント（パワハラ・セクハラについて）

日程 令和 6 年 2 月 28 日（水）

場所 安曇野市役所 3 階 全員協議会室

内容 株式会社廣瀬行政研究所代表の廣瀬和彦さんをお迎えし、議会におけるハラスメントについて学んだ。「ハラスメントを防げない組織は信用が失墜する。加害者は刑事・民事上の責任を問われる場合があり、さらに地方議員においては道徳的責任を問われる可能性がある。」このような事態を起こさぬよう、中立公平かつ問題解決型の条例を制定することが望ましい。セクハラ・マタハラ等への対応も必要であるため、女性が相談しやすい体制を作ること。また、相談員に議員以外の人を入れる方法もある。研修会の実施は重要である。

ハラスメント防止条例を制定した自治体は、全国で 1 府 1 県、21 市区、20 町村（令和 5 年 12 月末時点）。これらを参考に、当議会においてもしつかり取り組んでいきたい。



市民の The Voice 声



降旗 素子さん
(三郷)

子ども達の現状把握と理解ある支援を

私は 3人の障がいを持つ子どもを育てています。それぞれ特別支援学校や支援級に通っていて、次女と母子登校を始めて4年が経ちました。どの子も環境の変化に弱く、事前に準備をしても、先生や教室が変わるだけで緊張が強くなり、疲弊して学校に行けなくなっています。

一昨年、 娘の通う支援級にはエアコンがなく冷風扇だけでした。猛暑日が続く体調も心も不安定でした。エアコンのある別の教室に避暑したくても移動が不安な次女は教室を移動できません。

熱中症が 心配で子ども達の現状を市に伝え、エアコンの設置をお願いしました。返事は「予算の関係で設置は来年度。今年はエアコンのある教室で勉強して下さい」と言われました。娘の通う小学校で他にエアコンがない教室は、理科室などの特別教室と体育館だけでした。

障がい あり簡単に移動できないこ、熱中症で早退する子どもがい

ることも伝えると、「それなら学校を休む判断を下して下さい」と言われました。「エアコンのある教室へ行けばよい。無理なら学校を休めばよい」という障がいに理解のない言葉に傷つきました。

母子登校で、

支援が必要な子ども達の生きづらさや先生方の努力する姿を目の当たりにしてきました。子ども達が安全な学校環境で安心して過ごすためには、学校の先生方の努力だけでは限界があります。

市議会の皆さんには、

子どもを取り巻く現状

把握と理解ある支援を切に願っています。



8段 跳べたよ

議会からのお知らせ

公職選挙法に基づき、議員の寄附の禁止を徹底します

地域行事、祭りなどへの寄附や差し入れ、開店祝いや葬儀の花輪、病氣見舞い（親族以外）、中元、歳暮、入学・卒業祝い、代理出席の場合の結婚祝い・香典など、議員が寄附をすることは禁止です。

『寄附 しない、させない、求めない』

市議会6月定例会のお知らせ（予定）

議会を聴きに行こう！議会を「あづみ野テレビ」・議会ホームページ「インターネット中継」で観よう！

傍聴希望の方は、市議会議場（市役所本庁舎3階）へお越しください。無料の託児サービスは現在休止中です。

日	月	火	水	木	金	土
5/26	27	28	29	30	31 議会運営委員会	6/1
2	3 全員協議会	4	5	6	7 本会議（開会）	8
9	10	11	12	13	14 本会議（一般質問）	15
16	17 本会議（一般質問）	18 本会議（一般質問） 議案質疑委員会付託	19 常任委員会（総務環境）	20 常任委員会（福祉教育）	21 常任委員会（経済建設）	22
23	24	25	26 議会運営委員会・全員協議会	27 本会議（閉会）	28	29

請願・陳情は随時受け付けています。定例会ごとの締め切りは、開会日の原則10日前です。開会時間は本会議10:00～・常任委員会10:00～日程や開会時間など変更となる場合があります。

すくだせ！議会だより

前号から副委員長を拝命いたしました。読みやすい紙面づくりを心掛けていきます。よろしくお願いいたします。

さて「誰も居ない森で、1本の木が倒れたとする。その木は“音を出して”倒れたのか？」と、18世紀のアイルランドの哲学者は話しました。

多くの人が「木は倒れる時に音を出している」と答えるわけですが、正解は「その音を聞く人がいない以上、木は音を出していない」となるそうです。（話としては省略しました。気になる方は検索を）

一見すると、屁理屈のようにも思えるこの話ですが、「常識を疑う」ことは大事なことです。

これまで、常識や普通と思っていた物差しでは計れない事象が度々起きる世の中です。

『泰然自若』何が起きても動じない、そんなメンタルも培っていきたいと思います。

議会広報特別委員会副委員長 矢澤 毅彦

議会広報特別委員会

委員長 増井裕壽 副委員長 矢澤毅彦
委員 大竹啓正 岡村典明 橋本裕二 白井泰彦
中村今朝子 林孝彦 井出勝正 内川集雄